

酒々井町

郷土研究会会報

第101号

平成13年7月1日  
酒々井町郷土研究会  
広報部

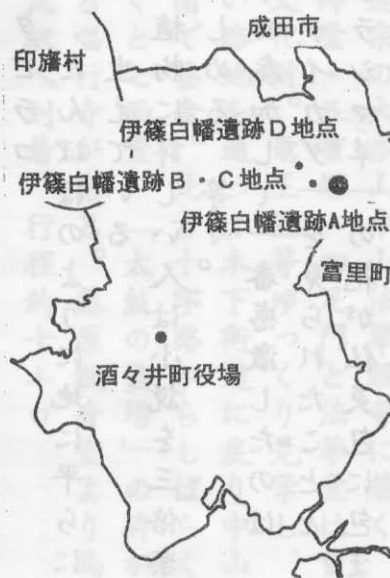
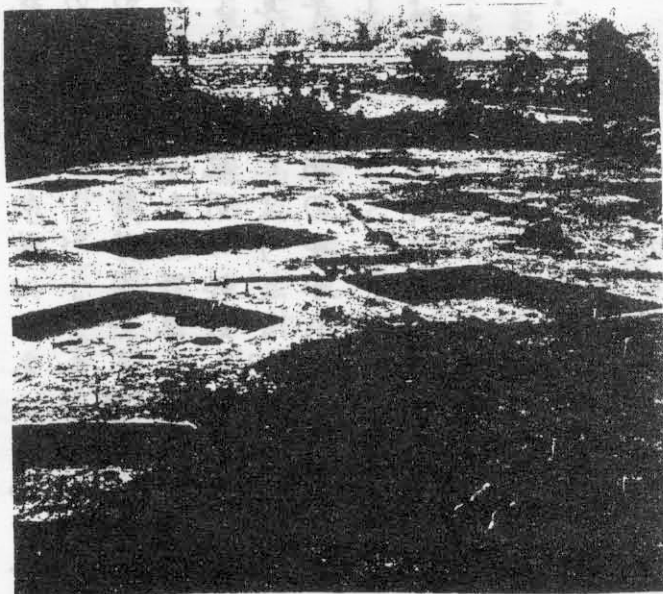
酒々井地域の遺跡(1)

小谷龍司

酒々井町には多くの遺跡がありま  
す。これは何も酒々井町に限ったこ  
とでなく、千葉県北部全域に見られ  
ることです。さらに地域によって若  
干の疎密があり、特に印旛沼周辺に  
は多くの遺跡が見つかっています。  
大きな水場があり、周囲をよく見渡  
せて、食料の確保も容易であったこ  
とが推察できます。ヒト・モノの移  
動に便利な立地が好まれたというこ  
とでしょう。  
交通の要衝であった例としてよく  
「酒々井宿」が取り上げられますが  
さらに古い時代でも同じ状況であっ  
たことがこれでわかります。  
ここでは町内の代表的な遺跡を取  
り上げて、特に流通・立地の面にス  
ポットを当ててご紹介したいと思  
います。当時の様子をイメージする  
助となれば幸いです。

伊篠白幡遺跡

酒々井町東北、国道51号線から  
南に下がったところ、成田市台方  
通って印旛沼に注ぐ江川の最上流付  
近に位置します。昭和五十八年八月  
から昭和五十九年二月まで4ヶ所調  
査を行っており、先土器時代・縄文  
時代・古墳時代・奈良時代・平安時  
代の建物跡・土器・石器等が出土し  
ました。  
先土器時代は終末期の石器が出土  
しており、石槍の成品・未成品、十  
イフ型石器、剥片・砕片(石器を作  
ったときに出る石屑)があります。  
長期間の定住の形跡はなく、移動の  
途中で石器を何点か製作して立ち去  
っていったような、キャンプサイ  
ト的な遺跡でした。  
縄文時代は後期(5000年前)  
の集落が発見されました。水場には  
近いが弥生時代のように大量に水  
を使用するわけではない、狩猟・採集  
・畑作を行うのに都合のよい適  
当な水場を選んでいました。



古墳時代から平安時代までは継続  
して集落が営まれました。住居跡や  
掘立柱建物跡の配置から見てかなり  
の規模をもった集落でした。この時  
期には開発がかなり進み、安定的な  
食糧供給が行えたことによるもので  
す。

花曇りの

薬王院と高幡不動尊

菅 ミツエ

桜便りも聞こえる春の朝、さわやかな風を身に受けて公民館前に集まりました。明るい挨拶を交わし、皆様楽しみにしておられたようで、予定より少し早くバスは出発しました。

郷土研専属?のガイドさんの案内を聞きながら都内をぬけ高尾山登り口に到着、日本一急勾配(31度)というケーブルカーに乗り、辺りには夕チツボスミレが淡い青紫の美しい姿を見せてくれました。

山路きて 何やらゆかし

すみれ草

薬王院は真言宗智山派の大本山で、高尾山薬王院有喜寺といい、天平十六年行基が薬師如来を安置して開山されたと伝えられ、成田山・川崎大師とならび三大本山として、厄除け・開運・家業繁栄など祈願する人が多く訪れる。高尾山山頂は標高五九九メートルで晴れの日には遠く十三州を望むことができます。花曇りで富士山は顔を隠して、残念、しかし緑の山々から吹くそよ風は心地よ

いものでした。

お昼は、お食事処香住で、釜飯をたつぷり頂き、次の目的地の高幡不動尊をお参りさせて頂きました。不動明王像に力強さを感じ、総本堂の大日堂を拝観、中には大日如来像を始め、鳴き龍天井があり、下て手を打ちますと、天からの声のように聞こえてきました。

高尾の森を歩き、お不動様をお参りし心洗われる一日でした。機会があれば歩いて登る事もやってみたいと思います。なお高尾山の山頂から望む十三州とは次の通りです。

- ・駿河・甲斐
- ・信濃・越後
- ・上野・下野
- ・常陸・上総
- ・下総・安房
- ・相模・伊豆
- ・武蔵



関東三山の一つ薬王院

スイバとギシギシ

松井信子

心配された天気も私達に味方したのでしようか、野草の観察には申し分のない一日でした。

亀井さんのやさしい、そして詳しく

い説明に皆の向学心があいまって予定の時間をオーバー。和やかな中にもめずらしい野草を一つも見逃すまいと真剣でした。野草には全く疎い私ですが、説明の軽妙な語り口に多少覚えられたようです。

草花の説明の中から二、三紹介しましょう。

- ・スイバとギシギシの見分け方
- ・ウシ?ウマ?
- ・タピラコ

植物に詳しい人は小説を三倍楽しめる、等々。

今回参加して一番感激したのは「ハナイカダ」を見られたことと「ウラシマ草」の花が仏炎包に包まれていることを知り、改めて自然の見事な造形に魅せられたことでした。



ぎしぎし(たて科)

### 木下街道を歩く(1)

齊藤日出子

さる二月二十四日榎本先生の木下街道の講演を受講して以来、今日四月二十三日が歩き始める初日となり八時十分京成酒々井駅に集合、快晴で凜とした雰囲気を感じました。西船橋で東西線に乗り換え行徳駅から全員三六名で歩き始めました。江戸時代木下街道は鹿島灘や霞ヶ浦でとれた魚を、利根川の水運を利用して木下河岸へ運びそこから陸路江戸迄運搬する街道として、人々が往来したのです。また江戸から香取・鹿島・息栖の三社参りにもこの街道を使いました。また江戸から香取・鹿島・木下から遊覧船で利根川を下っていきました。

江戸住民の生活用水を引いた水路内匠堀の上の石をがたと踏んで通っていくと常夜灯が見えてきました。この常夜灯は成田講中と日本橋の河岸の人達が航海の安全を祈念して建てたものです。今まで灯火されていかなかったものに昨年関東大震災以来初めて灯火されました。浅子みこし店の前を通り浄閑寺に到着、明治の大火の供養塔六面塔があり、明位お寺の多い寺町通りの家々は、花

が咲き誇り青葉が目にしみ入るようでした。日蓮宗妙覚寺では、県内にただ一基だけというキリシタン灯笼を見学でき住職さんからおはなしを伺うことができました。寺町通りに一際目をひく立派なお寺、徳願寺の本堂大屋根の瓦には葵の紋が付いています。行徳橋の河川敷でお昼を食べ、稲荷木の一本松で解散となりました。

### 夢が膨らむ史跡巡り

福地 武

今回初めて酒々井町の史跡巡りに参加させて頂きましたので、私なりの感想を述べたいと思います。

私は一昨年自衛隊を定年退職し上本佐倉一丁目に自宅を構え酒々井町民となりました。それ以来生涯の地と選んだここ酒々井町の歴史及び自然を学びたいと考えてきました。町の史跡巡り案内の記事を発見し早速参加させて頂いたというわけです。今回の史跡巡りでは、青木会長と高木副会長の懇切丁寧な説明が大変理解しやすく下宿・新堀・中川地区の歴史の一端を知ることが出来たと大いに感謝しています。

特に、勝蔵院及び西蔵院における

説明と所蔵品の展示は、大変印象に残るものでした。また、史跡や所蔵品の保管・維持にも関係者の大変なご苦労があることがよく分かりました。私も微力ながら郷土研究会の活動に貢献したいの思いで、早速入会させて頂きました。

今後は町内の他地区の歴史についても機会があれば勉強していきたいと思っております。

また、今回のような計画に若い町民がほとんど参加してくるような雰囲気作り及び酒々井町の梓にとらわれず周辺の市町村との関連する歴史研究等ができればと夢を膨らませていきます。よろしくご教示ください。

### 会計報告

高尾山方面	
収入	6,500×36=234,000 円
支出	八街観光223,000 円
	諸雑費 10,237 円
計	233,237 円
残	763 円
別所温泉方面	
収入	26,500×36=954,000 円
支出	八街観光910,450 円
	保険料 3,811 円
	諸雑費 38,348 円
計	952,609 円
残	1,391 円

七草粥を食べる会	
収入	
会費	700 円
参加人員	79 名
	700×79=55,300 円
雑収入	5,000 円
計	60,300 円
支出	
材料費	53,818 円
諸雑費	9,374 円
計	63,192 円
本会計より補充	2,892 円

郷土史講座案内

郷土史家 榎本正三先生

『木下街道について』

去る二月二十四日「木下街道を歩く」の予備講座として郷土史家の榎本先生から「木下街道の概要」についてお話しを伺いました。

江戸時代、日本橋小網町から行徳までは塩の道として造られた運河です。新川・小名木川から舟で行徳川岸に上り夕方木下港に着いたそうです。

四月二十三日、郷土研の行事として行徳から八幡まで歩きましたが常夜灯始め当時の面影が残るものに会って有意義な行事でした。

参加者の方から「木下街道についてもっと知りたい」という希望が多かったので再度榎本先生にお願いしました。八幡宿・鎌ヶ谷宿・白井宿・大森宿・木下宿などについてお話しを伺う予定です。皆様お誘い合わせでご参加ください。なお二月の榎本先生の講演資料をお持ちの方はご持参ください。

文化財の宝庫 塩田平

寺本恵美

予定より早めに出発しました。心がうきうきし道路の渋滞もなく早めの昼食をとって計画通り見学出来ました。

信濃国分寺の三重塔は、さすが一国の国分寺にふさわしく見事な建築でそっとうり落ち着いています。大佛寺は観音堂が修復されている

為、御本尊の十一面観音立像は本堂に移されていて真近に拝観することができ、やさしいお顔立ちに心が和みました。又三重塔は、一層、二層、

三層と上にいくにしたがって塔身の幅が小さくなっているのが安定感があつて美しく見えました。昔、旅人が何回も振り返って眺めたので、別名「見返りの塔」ともいわれていました。この時、雨が激しく降り出し、いつそうしつとりと建っていて美しかったです。旅館に荷物を置いて自由散策。時間が遅いので安楽寺の八角三重塔だけ拝観、下から見ると四重塔に見えますが、一番下のは裳階だそうです。八角の形をしている塔

もめずらしく、心に残ります。夜の宴会は芸達者な方々が多くアツという間に時間が過ぎてしまいました。翌朝は北向観音の鐘で目がさめ六時頃より常楽寺と北向観音を拝観に行きましたが、以前より参道などが舗装されていたので少しガツカリ。八時半に出発して森將軍塚へ。資料館を見て現地へ、高い所と壮大なのにびっくりしました。風と雨が強く飛ばされそうでのんびりと遠くをながめることができず残念でした。再度来たいと思います。長雲寺では国宝の愛染明王を拝観し、住職の説法を聞き、心すっきりして、帰りも渋滞にあわず家路に着くことが出来ました。

郷土研日誌

月日	内容	人数	月日	内容	人数
3/27	印刷	8	5/22	一泊見学会	37
29	発送	23	26	部長会議	8
4/6	一泊受付	8	29	木下街道見	5
13	野草観察会	21	6/1	運営委員会	26
17	古文書学習	5	2	史談会	18
23	木下街道	37	3	編集会議	6
5/11	研修部会	13	4	史跡巡下見	2
12	史談会	16	5	古文書学習	6
13	町内史跡巡	41	8	名勝探訪	34
15	古文書学習	7	9	百号記念誌製作	24
16	一泊資料作	2	10	"	17
18	編集会議	7	15	編集会議	5

見学

案内

小見川方面



八月二十九日(水)

暑い時期ですが、江戸時代利根川水系の水運によって栄えた町・小見川辺りを散策してみましよう。

小見川城跡(城山公園)

戦国時代、栗飯原氏が築いた平山城で空堀、塁壁、用水池の一部が残存している。

善光寺

天台宗の寺。天正年間、信州川中島善光寺の沙門清賢上人の開山と伝えられている。墓地内には小見川出身の歌舞伎役者・初代松本幸四郎の墓があり、県史跡に指定されている。

府馬の大クス

宇賀神社の境内にあり、国の指定天然記念物である。

山倉大神

弘仁二年(811)悪疫退散を願って高皇産靈、建早須佐之男、

大物主の三大神を奉斎したのがままりと伝えられる。

名勝探訪

早稲田・池袋方面



九月五日(水)

雨天代替九月十日(月)

今回は新都心の新しい顔と昔懐かしい東京で唯一残る都電に乗り、池袋の新旧を訪ねてみましょう。

町屋から都電で面影橋へ。ここから、太田道灌が鷹狩りに訪れ、雨に遭って近くの農家の娘に蓑と笠を借りようとした時詠んだという古歌の碑があります。

七重八重花は咲けども山吹の

実のひとつだになきぞ悲しき

江戸城の守護といわれる江戸五色彩不動の一つ目白不動が安置されている金乗院や雑司ヶ谷鬼子母神を参拝して東京拘置所跡に建った高層ビル・サンシャインシティでちよつと遅めの昼食をとり、後は時間の許す限り自由散策をしてみても如何でしょうか。

木下街道を歩く (2)

(八幡・馬込沢方面)

九月十四日(金)

雨天代替九月二十一日(金)

八幡駅より天然記念物の千本公孫樹がある葛飾八幡宮、藪知らずを通過して日蓮宗の大本山中山法華経寺に着く。祖師堂・五重塔・四足門と法華堂は重要文化財。竜王池等ゆっくり見学し、細い路地を通過して木下街道に戻り中山公園で昼食。北方十字路からしばらく行くと七面堂、「太鼓の霊場」の碑がある唱行寺がある。藤原観音堂より馬込沢駅へ到着。行程約十キロ

あとがき

二〇〇一年の半ばに一〇一号を皆様のお手元に配布できることを郷土研究会として誇りに思います。小泉内閣の閣僚に五人をようし、また本県にも知事を迎えるなど、今や女性の時代そのものです。郷土研究会においても会報発行はもちろん、会計、総務、研修、野草など女性のパワーが会の運営を大きく支えているんですよ。これから楽しみみな木下街道(2)を始め行事が盛り沢山です。暑さとご自身の体力に感じ、ととしし参加してください。 T生

郷土研行事案内 平成13年7月～9月

<p>史談会</p>	<p>7月 7日(土) 13:30 会議室 「道が語る酒々井の歴史」 講師：高橋健一先生</p>	<p>8月 休講</p>	<p>9月 1日(土) 13:30 会議室 「道が語る酒々井の歴史」 講師：高橋健一先生</p>
<p>古文書を 読む会</p>	<p>7月 17日(火) 13:30 社会福祉協議会 「岡田家文書」</p>	<p>8月 21日(火) 13:30 社会福祉協議会 「岡田家文書」</p>	<p>9月 18日(火) 13:30 社会福祉協議会 「岡田家文書」</p>
<p>土史 講座</p>	<p>8月19日(日) 13:30～ 会場：公民館視聴覚室 演題：「木下街道について」 13:00開場 講師：榎本正三先生(郷土史家) 入場無料 後援：酒々井町教育委員会 ご来場お待ち ：酒々井町文化協会 しております。</p>		
<p>日帰り 見学会</p>	<p>8月29日(水) 「小見川方面」 定員：33名 会費：800円 公民館前集合 8:30 申込受付 7月7日(土) 10:00～11:00 公民館ロビー キャンセル 実施日3日前までに青木朝次宅へ(☎ 公民館) 小見川城跡(城山公園) 善光寺 良文貝塚 府馬の大クス 山倉大神 公民館 弁当・飲み物必ず持参下さい 一部コース変更あり(16:30)</p>		
<p>名勝探訪</p>	<p>9月5日(水) 「早稲田・池袋方面」 雨天代替9月10日(月) 集合 京成酒々井駅 8:10 京成酒々井 — 町屋 — 面影橋 — 山吹の里碑 — 金乗院(目白不動尊) — 雑司ヶ谷鬼子母神 — 大鳥神社 — サンシャインシティ(東京拘置所跡) — 池袋 — 日暮里 — 京成酒々井駅 (行程に一部変更あり) (サンシャインシティにて解散 自由昼食)</p>		
<p>木下街道を 歩く(2)</p>	<p>9月14日(金) 「八幡・馬込沢方面」 京成酒々井駅 8:10集合 雨天代替9月21日(金) (場合によりコース変更あり) 京成酒々井駅 — 京成八幡駅 — 葛飾八幡宮 — 中山法華経寺 — 中山公園(昼食) — 七面堂 — 唱行寺 — 藤原観音堂 — 東武馬込沢駅 — 船橋駅 — 京成酒々井駅(16:30予定) (約10km) 弁当、飲み物、敷き物 必ず持参</p>		